

～ 湘北地区の人口・世帯数 ～		
地域	人口	世帯数
鶴が台 一街区含む	4,805(- 98)	2,487(+ 13)
香川	11,615(- 40)	4,590(+ 40)
松風台	1,523(+ 8)	602(+ 8)
甘沼	5,333(+ 42)	2,023(+ 24)
みずき	3,143(+ 51)	1,093(+ 15)
湘北地区	26,419(- 37)	10,795(+ 100)
茅ヶ崎市	237,418(+ 615)	96,618(+ 988)

・世帯:2014年1月1日現在 [()内は対前年比]



発行日 2014年 3月 1日

第42号

発行者 湘北地区社会福祉協議会
会長 吉田 正一

発行部数 9,000部

『湘北』は、毎年10月と3月に発行しております。

「湘北地区社会福祉協議会(湘北地区社協)」は、湘北地区住民の福祉を進める社会福祉団体です。

神奈川県バリアフリー街づくり賞を受賞

湘北地区社会福祉協議会は、地域の福祉増進を図ることを目的とした団体で、地域住民、ボランティアから構成されて活動を行っています。その活動の一つ「地域福祉を考える懇談会」が「まち探検」等の活動が評価されて、「神奈川県バリアフリー街づくり賞」を受賞しましたのでご紹介いたします。

湘北地区社会福祉協議会の活動の一つ「地域福祉を考える懇談会」の活動が評価されて、このたび「第6回神奈川県バリアフリー街づくり賞」を受賞し、その表彰式が2月6日、神奈川県庁で行われ、吉田会長、青木代表副会長、市社協の横山さんが出席しました。今回表彰された「地域福祉を考える懇談会」は茅ヶ崎市地域福祉計画の策定を受けて、地区内の福祉施設、ボランティアなどが参加し、「10年後の私たちと地域」として将来を見据えた活動の課題や必要性を話し合う場として始まりました。その問題提起から、様々な事業が生まれました。代表的な事業は「ホームページ」「福祉マップ」「まち探検」などです。

「ホームページ」は、これからの時代はインターネット利用が増えることを想定し、地域への情報提供事業を始めたものです。

「福祉マップ」の作成は地区内の福祉情報を伝えるために始めた活動です。掲載する福祉施設等はそれぞれ委員が確認に行き、顔と顔の見える関係になりました。

「まち探検」は福祉マップを活用して具体的に地区内のバリアフリーの点検や障害者の方との交流が図れないかと考えて、平成21年度から①自分達の住んでいるまちを知る②地域の福祉を点検する等を主な目的として始めたものです。「まち探検」で歩く



知事から表彰状を受け取る吉田会長



まち探検結果を発表する北陽中生

地域は毎年変わります。年々参加者も増え、地区内の障害者、高齢者、子育て世代、自治会や社協の関係者、地区内の福祉施設関係者、中学生など、相互の交流も深まり、これをきっかけに日常のあいさつ等の「交流の成果」に発展し、心のバリアフリーも合わせて進められています。世代を超えて「住みよいまちづくり」を意識しつつ色々なお話をしながら晩秋の一日、一時間をかけてゆつくりと自分たちの住む町を歩きます。

「自分たち」の住む「まち」だからより良くしていきたい、その「気持ち」と「活動」づくりに懇談会の活動はつながっています。継続的に話し合い、交流する場のあることがお互いの理解を進め、バリアフリーにつながっています。

湘北地区社会福祉協議会は、地域の福祉増進を図ることを目的とした団体で、地域住民、ボランティアなどから構成されており、様々な地域福祉活動の取組みが評価され、今回の受賞につながったと思われまます。(代表 澄川)

《香川》

各自治会と地域社協の紹介

《鶴が台団地》

- 自治会創立(発足): 1947年(昭和22年)
- 地域の全世帯数: 4,580世帯
- 自治会会員数: 3,334世帯
- 自治会費(年額): 3,600円
- 自治会組織: 総計34名(今年度は兼務者があるため33名)
 - 自治会役員: 6名
自治会長1名、代表副会長1名、総務部会長1名、総務副部会長1名、会計部会長1名、会計副部会長1名
 - 町内会: 12名(第1町内会～第4町内会)
町内会長4名、副会長4名、総務4名
 - 各種部会: 16名(8部会・部会長1名、副部会長1名)
ふれあい部会、広報部会、環境部会、体育部会、美化部会、防犯部会、防災部会、会館管理部会
 - 自治会助成金団体: 6団体
子ども会、青少年育成推進協議会、レディース香川、寿クラブ、香川消防団、体育振興会
 - 社協組織: 香川社協お楽しみ会、香川ふれあいサロンにこにこサークル
- 自治会と地域社協の主な活動
 - 自治会=新組長会議、香川自主防災訓練、地引綱、ふれあいまつり、自治会館まつり、賀詞交歓会
 - 地域社協=香川社協お楽しみ会: 年6回開催(隔月)
香川ふれあいサロン: 毎月第二金曜日開催
にこにこサロン: 毎月第一、三、四金曜日開催
- その他(特色など)
 - 香川自治会は、会員相互の親睦、文化、福祉の向上を図ることを目的としています。

- 自治会創立(発足): 1968年12月8日(昭和43年)
- 地域の全世帯数: 2,376世帯(2013年3月末)
- 自治会会員数: 1,415世帯(2013年3月末)
- 自治会費(年額): 4,800円、75歳以上高齢者への減額制度あり
- 自治会組織
 - 自治会役員: 役員会(10人)、役員部長会(15人)、運営委員会(36人=役員含む)、棟委員会(定員79名)、専門部・委員会(あわせて10組織)
 - 自治会助成金団体: 地区社協鶴が台評議員会、Eラウンジ運営委員会、体育振興会、鶴寿会(老人会)、青少年育成推進協議会
 - 地域社協の組織: 湘北地区社協、鶴が台評議員会
 - 自治会が加盟している団体: 神奈川公団住宅自治会協議会
- 自治会と地域社協の主な活動
 - 自治会の主な活動:
 - 行事…夏祭り、夏休みラジオ体操、敬老のつどい、スポーツフェスティバル、新春のつどい
 - 活動…住宅問題で住まいと暮らしを守る活動、URセンター交渉、募金関係、道路や交通・環境問題での市との交渉、迷惑駐車対策、会員増対策、来訪者駐車場の運営、広報活動(新聞4回、ニュース24回)、共同購入の幹旋や修繕対策(ゴミブリ駆除、レンジフード清掃、室内修繕、フスマの共同購入、トイレ凝固剤)、高齢者等家事支援、花とみどりの環境整備、ゴミと資源リサイクル、防災(安否確認訓練、災害対策本部立ち上げ訓練、要援護者交流会)
 - 自治会事務所…日常の事務処理と窓口対応…事務員2人が月～土勤務
 - 地域社協の主な活動:
 - すこやかサロン(高齢者対象、年4回)、タンポポの会(障害者対象、年4回)、広報紙(年2回)、夏祭りでの資金活動
- その他(特色など)
 - 地域組織の連携活動(社協・民生委員・老人会との連絡協議会を年6回開催)

湘北地区社協 分科会活動報告とお知らせ

地域福祉を 考える懇談会

みずき地区「まち探検」

北陽中生が大活躍

「地域福祉を考える懇談会」は、8年目を迎える今年度は担当者会を3回、懇談会を3回開催し、地域の福祉関係団体の方々や高齢者や障がいを持つ方々の悩みや解決策など具体的に活発な意見交換があり有意義な会となっていました。

懇談会の主行事「まち探検」も5回目を迎え、今回は「みずき地区」で12月8日(日)に行われ少し肌寒い日でしたが、晴天で百名を超える方々にお集り頂きました。特にみずき自治会の全面的な協力により地元の方々や家族連れで30数名参加頂き和やかな催しでした。市内では新しい街のモデル「湘南みずき」として市民の間で憧れの地です。開発当初より主要な場所に「防犯カメラ」を設置しセキュリティの街で、リバーサイドをプロムナードとして子ども達が川遊びもできる素晴らしい街環境です。



車イスを体験しながらまち探検

達、障がいのある方達が一緒に歩き松風台の街を探検した結果、バス通りの両側の歩道の街路樹の根が路肩の石を持ち上げて段差となり、転ぶ子どもが少なくないそうでした。

この気付いた危ない箇所は、松風台自治会に報告され、自治会役員が市の担当課と交渉を行い、さっそく段差は改善され、安心して通行できると近所の方達から報告がありました。(書記・佐川)

探検は、ABC3コースに分かれ約一時間幼児から高齢者まで大人用車いす6台と子供用車いす3台も準備し子供達も体験して街探検をしました。市保健福祉課や市社協、包括支援センター「あかね」各職員も加わり15団体が参加しました。特に、グループホーム「下宿屋」の16名を始め北陽中からは8名も初参加して充実した交流が生まれました。

探検後、みずきコミュニティハウスでグループ討議を行い、気付いた点を模造紙にまとめました。発表は北陽中一年生全員にお願いし見事な発表で大喝采をあげました。

「自分たちが住む街を自分たちで良くして行こう」との目的が共有されました。最後に参加者みんなに美味しい豚汁が振る舞われました。なお、各コースの報告は、写真入りで「湘北地区社協」のホームページに記載されています。



豚汁

「まち探検」の成果！ 昨年度実施した松風台

昨年度の「まち探検」は松風台が会場でした。家族連れ、支えられて歩く高齢の方

達、障がいのある方達が一緒に歩き松風台の街を探検した結果、バス通りの両側の歩道の街路樹の根が路肩の石を持ち上げて段差となり、転ぶ子どもが少なくないそうでした。



改善された路肩

健康・福祉講座

昨年9月26日(木)に第1回健康講座「認知症とは」を香川公民館と共催で開催し、30名ほどの参加者でグループに分かれて話し合い、認知症になられた方の家族のケア、毎日の生活の悩み等々経験者からのアドバイスを聞いたりして有意義な交流が持てました。第2回は、平成26年2月21日(金)茅ヶ崎市「まなびの講座」より、市の保健福祉課露木康雄副主査にお願いし、テーマは「カラダとこころの健康講座」で、カラダの健康は「インフルエンザの上手な予防」、こころの健康は「ストレス」について悩みを抱える方へのポイントを話して頂きました。

今年度の健康講座は終了致しますが、皆様のご参加、ご協力に心より感謝申し上げます。有難うございました。(代表・沓澤)

公民館まつり

台風の接近によって延期になった公民館祭りは年度末の3月8日(土)、9日(日)に実施されます。テーマは第25回に因み「ニコ(25)ニコ広がれ地域の和」です。

湘北社協バザーは8日(土)に実施し、出品は去年6回に亘り議論され、役員会決定された。(綿菓子・ウーロン茶・コーヒー・カレーライス・水あめせんべい等)。

地域の活性化を目指して活動を続けていきますので、皆様のご来場をお待ちしております。(代表・長谷川)

ボランティア 入門講座

第七回「ボランティア入門講座」を終えて

秋の恒例行事となりましたボランティア入門講座が11月に4回に亘り香川公民館で開催されました。天気にも恵まれ窓からは美しい姿の富士山を望み、4日間のプログラムはわかりやすく具体的な講義は説得力があり、受講生みんながうなづきながら



講義風景

聞き入っていました。体験学習(アイマスク、シニア体験、車椅子操作)では見えないこと、歩けないことが、それほど大変なことなのか初めて解り、相手の身になって適切な言葉かけが本当に大切なのだと感動していました。またこの湘北地区には数多くのサロンやボランティアグループ、福祉団体があることを知り、身近に感じられ安心したとの感想が聞かれました。そしてグループワークではどんなボランティアが自分達に出来るのか、真剣に話し合っ考えたことを模造紙いっぱい記録して発表し満足そうでした。

受講生の中にはこのような講座に参加し、互いに助け合って生きる素晴らしさ、豊かさを自覚できたら温かい住みよい社会ができますねと、しみじみ話されたことがとても印象に残っています。受講生15名(男性4、女性11)でした。4日間受講し修了した人は9名でした。

今回で7回目を数えますが、いつも思うことはボランティアとは自分自身を向上させるもの、そして人生を豊かに楽しくしてくれるものではないのかと。(代表・有凸)



インスタント・シニアを体験する受講生

広報分科会

- 澄川 篤 (代表・甘沼)
- 中山七恵 (香川)
- 田中京子 (香川)
- 田井精一 (甘沼)
- 衛藤正視 (甘沼)
- 中野親恵 (松風台)
- 森井香代子 (鶴が台)
- 内野義生 (ライトウツ)
- 宮村茂樹 (みずき)